

しんいち学区まちづくり計画



2017年(平成29年)1月
しんいち学区まちづくり推進委員会

しんいち学区の活動



新春 元旦祭（城山山頂）



史跡巡り



卒業記念植樹



しんいち春まつり



KIRAKIRA夏まつり



ヤングボランティアスクール



防災マップの作成



保育所餅つき

目次

1. はじめに	2
2. 新市学区の概要	
3. 新市学区の現状	3
(1) 人口・世帯数等の推移	
(2) 高齢化率の推移	
(3) 町内会加入率	
(4) 学区内の主な公共施設	
4. 新市学区の現状と課題	5
5. しんいち学区まちづくり計画基本方針	7
(1) 目標	
(2) 基本方針	
(3) まちづくり計画がめざすもの	
(4) 計画の見直し	
6. まちづくり活動の展開	8
7. 行動計画	9
8. 推進体制	12
9. しんいち学区まちづくり推進委員会構成団体	13
資料編	
・座談会・団体アンケートの集約	14
・新市ガイドマップ	17



経度緯度標高 表示看板 (新市小学校)
東経 133° 16' 30"
北緯 34° 33' 15" 標高 22m

1. はじめに

今日、日本社会は人口減少とともに急速な少子超高齢化が進展しており、私たちの生活を取り巻く環境も様々な分野で変化をしています。

こうした中、福山市では、市制施行 100 周年となる 2016 年度(平成 28 年度)に向けて、今後どのようなまちづくりをめざすのか、その方向性や重点項目を定めた、「第 2 次福山市協働のまちづくり行動計画」を策定されました。

その重点項目として、将来に向けて、持続可能なまちづくりを進め市民誰もが、ふるさとに誇りと愛着を持ち住み続けることができる協働の社会の実現に向けた「地域まちづくり計画」の策定が市内全学区に提案され、新市学区においても策定する運びとなりました。

この計画は、次の 100 年に向けて、「心豊かに」、そして「いきいきと元気に」暮らすことができる「ふるさとしんいち」を未来につないでいくため、新市の今と将来を住民自らが考え、策定したものです。

今後、計画の推進に当たっては、皆様方のご理解とご協力、また新市学区のまちづくりに積極的なご参加をいただきますようお願いいたします。

しんいち学区まちづくり推進委員会

2. 新市学区の概要

新市学区は福山市の北西部にあたり、西側は府中市、北側は神石高原町に隣接しています。

新市の地名は備後の国一宮吉備津神社の門前市場町として発展していった宮内町に発し、山陽道との交点古市から新市へと発達していった集落と考えられます。「新市」の名称が文献に現れてくるのが 1573 年～1591 年(天正年間)毛利氏が作成した「八箇国配置絵図」に「品治郡新市目代」として記されたのが最初だといわれています。少なくとも戦国時代末期には新市という地名が使われていたこととなります。

江戸時代に入り、水野勝成は 1620 年(元和 6 年)に農政改革により村の分合を図る村落制度の整備を行います。品治郡宮内村を新市村、宮内村に、相方はしばらくおいて 1698 年(元禄 11 年)有地村より分村され、江戸時代初期に確立された村落制度は、ほぼそのまま福山藩主水野、松平、阿部氏へと継承されていきます。

その後、1889 年(明治 22 年)町村制実施で新市村(一村独立)、戸田村(戸手・近田二村で戸田村)、網引村(上安井・下安井・宮内三村で網引村)、常金丸村(常・金丸村で常金丸村)、福相村(福田・相方二村で福相村)となります。1907 年(明治 40 年)には新市村から新市町となり、1949 年(昭和 24 年)福相村相方地区が新市町に編入、1955 年(昭和 30 年)新市町、戸手村、網引村、常金丸村の 4 か町村が合併し新市町となります。1959 年(昭和 34 年)藤尾村の一部が新市町に編入合併、2003 年(平成 15 年)福山市と合併し現在に至っています。

3. 新市学区の現状

(1)人口・世帯数等の推移

(単位：人・世帯)

年月日	人口	内14歳以下人口	14歳以下人口割合(%)	世帯数
2012年3月末日	6,081	915	15.0	2,325
2013年3月末日	6,213	929	15.0	2,437
2014年3月末日	6,192	927	15.0	2,455
2015年3月末日	6,214	921	14.8	2,488
2016年3月末日	6,161	902	14.6	2,499

(2)高齢化率の推移

(単位：人・%)

年月日	新市学区		福山市全体	
	高齢者数	高齢化率	高齢者数	高齢化率
2012年3月末日	1,582	26.1	113,874	24.1
2013年3月末日	1,617	26.0	118,053	25.0
2014年3月末日	1,671	27.0	118,053	25.0
2015年3月末日	1,740	28.0	121,913	25.9
2016年3月末日	1,736	28.2	125,335	26.6

※高齢化率は、全年齢の合計人口に対する65歳以上の高齢者人口の割合

(3)町内会加入率

新市学区には、20町内会が組織されていますが、学区全体の加入率は、68.0%となっています。

(単位：世帯・%)

地域	世帯数	町内会加入世帯数	町内会加入率
新市学区	2,499	1,697	68.0
福山市全体	202,995	127,820	63.0

※2016年4月1日現在



ヤングボランティアスクール 施設訪問



ひとり暮らし者へ配食サービス

(4)学区内の主な公共施設

- ・ しんいち市民交流センター(新市支所, 新市図書館)
- ・ 新市保育所
- ・ 戸手南保育所
- ・ 新市小学校
- ・ 新市中央中学校
- ・ しんいち歴史民俗博物館
- ・ 新市スポーツセンター
- ・ 新市公民館
- ・ 新市老人福祉センター(交流館しんいち)
- ・ 福山あしな商工会
- ・ 新市コミュニティセンター
- ・ 新市給食センター
- ・ 新市郵便局
- ・ JR 西日本 福塩線 新市駅
- ・ 新市交番所
- ・ 大佐山運動公園



しんいち市民交流センター
(新市支所, 新市図書館)



新市公民館, 福山あしな商工会
新市老人福祉センター(交流館しんいち)



新市中央中学校



新市小学校



しんいち歴史民俗博物館



新市保育所



J R 西日本 福塩線新市駅

4. 新市学区の現状と課題

座談会および団体アンケートの結果から

学区全体を住民自身がどうとらえているかについては、良いところとしての意見では、「あいさつがよくできている」、「学区内に各種公共施設があり便利」、「さまざまな行事を通じ世代を超えた交流ができている」、「地域住民により土手や公園の管理ができている」など、地域での繋がり合いを大切にしていると感じられる意見が多く出されています。

しかし、一方では「町内会未加入世帯の増加」、「町内活動へ無関心」、「耕作放棄地・空き家の増加」、「各種団体役員等の高齢化」という意見に見られるように、少子高齢化に伴い世帯構成や地域環境が変化してきている影響もみられ、将来への不安は大きいといえます。

今後のまちづくりを展望したとき、「若い人の意見を反映」、「三世代交流活動」、「IターンUターンが増えるまちづくり」といった意見にみられるように、『各世代において地域活動をいかに担うか』ということが重要なテーマとなるのではないのでしょうか。

そこで、各分野ごとに出された意見から課題を整理し、今後の活動につなげていきたいと思えます。

(1) 活力・健康・つながり

学区行事や祭りに多くの人が集まり、強いつながりがあることやスポーツ振興が盛んで健康意識が高いこと、さらには、あいさつが盛んになされていることを魅力と感じている人がいる一方で、「つながりが希薄になってきている」、「役員を受ける人がいなくなった」、「若い人の参加が少ない」といった意見もあります。

このことから、社会環境の変化によって、今日まで積み上げてきた魅力が薄れてきている傾向が見受けられ、その解決策としては「若い人の参加」こそが重要と考えられます。

新市らしい地域活動を今後も計画的に粘り強く取り組むとともに、「人のつながり」を大切にする学習活動等も充実していく必要があります。

(2) 福祉・子育て支援

福祉・子育てでは、まず「相談」、「集い」、「活動」において、公民館・コミュニティセンター・保育所が活用しやすい環境にあることがうかがえます。

高齢者に対する「見守り活動」や「福祉サロン」の取り組みで安心感があるという意見がある一方で、今後さらなる高齢化を見据え、支援活動や見守り活動の強化が求められています。また、災害時の支援体制整備に取り組んでいく必要があります。

子育てに関しては、「育児相談」、「子育て支援行事」、「サークル活動」が充実しているという意見がある一方で、少子化の進展により、「子ども会の再編が必要では」との厳しい意見もあります。

地域全体で、増加する単身高齢者や次世代を担う子どもたちを支援していくため、世代を超えた地域ぐるみの交流が強く求められています。

(3)安心・安全

「自然災害が少なく安心して暮らせる」という意識が高いものの、警戒心が薄いということも表裏一体として表れています。交通安全・防犯では「見守り」、「交通指導」、「あいさつ運動」や「LED設置」などが高く評価されています。

こうした現状から、日頃の地域活動において、「災害に対する備え」に取り組むとともに、引き続き小中学生に対する見守り活動や交通指導、またドライバーのマナーアップに向けた啓発等の取り組みが必要です。

(4)環境

土手や公園などを中心に、「清掃活動のおかげで良い環境が保たれている」という意見や「清掃活動をしておりごみ出しのマナーが良い」という意見があり、地域活動を行うことでマナーの向上につながっていることがうかがえる意見もあります。

今後に向けては、バリアフリー化の推進やさらなる環境啓発活動の推進を求められています。

また、全国的な課題となっている空き家・空き地対策やイノシシなどの有害鳥獣対策を求める意見もあり、これらは、少子高齢化等による地域環境の変化も影響していると考えられるため、「子どもや若者が暮らせる魅力的な地域づくり」の取り組みと一体的に考えていくことも必要です。



防災訓練



防災計画書



安心・安全パトロール

5. しんいち学区まちづくり計画基本方針

(1)目 標

新市学区の人のつながりと地域資源を活かし，子どもから高齢者まで誇りをもって，すべての住民が，お互いを尊重し，支え合いながら，明るく住みよいまちづくりをめざします。

キャッチフレーズ

『どうにゃ～ しんいち』

「どうにゃ～」は伝え方を強くする言葉であり，また思いやりを伝える言葉です。外に向かっては「どうにゃ～」とより強く発信，また「どうにゃ～」と声を掛け合い絆をつなげる意味です。

シンボルキャラクター

『しんいちろう』



素盞鳴神社祇園祭典の神輿をイメージしており，これを見ると誰もが心躍りつながることができます。

(2)基本方針

この計画は，主人公である新市学区住民によるまちづくりの将来像を示したものであり，今後のまちづくり活動の指針とします。

(3)まちづくり計画がめざすもの

- ・住民みんなで「まちづくり計画」を共有し，協働実施することで，目標の実現をめざします。
- ・まちづくり推進委員会をはじめとし，各種団体や公民館・コミュニティセンターなどが主催する様々な活動を通して，より住み良い地域をめざします。
- ・各種団体と連携・協力し，地域資源や学区の特色を活かしながら住民の交流とふれあいができるまちづくりをめざします。

(4)計画の見直し

社会情勢や住民ニーズなどの状況変化を適切に対処した上で，事業活動の方針の見直しを行うこともあります。

6. まちづくり活動の展開

新市学区のまちづくりに関して、次の視点で事業活動を展開します。

(1)活力・健康・つながり

- ①住民が年齢を問わず参加でき、つながりを深めることができる行事やふれあいの場づくりを継続し実施します。
- ②地域資源や学区の特色を活かした事業を展開します。
- ③健康増進につながる行事を実施します。
- ④時代を担う若年層のまちづくりへの参画と人材育成を行い、持続的で活力ある地域づくりを行います。

(2)福祉・子育て支援

少子・高齢化と人口減の中で、地域ぐるみの支えあいによる生活支援や子育て支援活動を実施します。

(3)安心・安全

- ①災害に備えた防災・減災活動を行います。
- ②防犯，交通安全，特殊詐欺防止等の啓発活動を実施します。

(4)環境

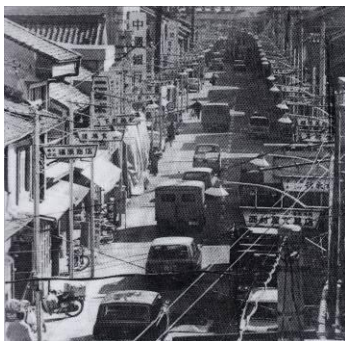
豊かな自然と美しい環境を守り，大切にしている活動を実施します。



福塩線 神谷川鉄橋と蒸気機関車
1957年（昭和32年）頃の撮影



現在の福塩線
2016年（平成28年）撮影



新市本通り
1969年（昭和44年）撮影



現在の新市本通り
2016年（平成28年）撮影

7. 行動計画

目標の実現に向けて次の事業を展開します。

新規事業については、住民のみなさんの積極的な参画と関係団体の協力による推進体制の確立を図りながら、実施可能な事業から実施していきます。

事業内容については、必要に応じて見直しを行います。

【※：短期は1年（継続事業を含む）・中期は3年・長期は5年を目安とします。】

分野	事業名	継続事業	実施時期(※)		
			短期	中期	長期
活カ・健康・つながり	しんいち春まつり	○	○		
	学区民運動会	○	○		
	キャンドルナイトコンサート	○	○		
	健康増進活動 史跡巡り 健康マップづくり 健康講座研修・体験活動	○	○		
	新春登山活動	○	○		
	まち興し活動 リーダー研修 ゆるキャラ活用活動	○	○		
	地域づくり作品・学習発表会 しんいち公民館まつり	○	○		
	情報発信活動 広報誌発行活動	○	○		
	KIRA KIRA 夏まつり	○	○		
	住民学習活動	○	○		
	交流イベント活動			○	
	地域資源活用活動				○
	地域の文化伝承（史跡巡り）	○	○		



学区民運動会



しんいち公民館まつり

分野	事業名	継続事業	実施時期(※)		
			短期	中期	長期
福祉・子育て支援	三世代・世代間交流事業 一人ぐらし者配食サービス もちつき	○	○		
	ヤングボランティアスクール	○	○		
	一人ぐらし介護者の集い KIRA KIRA 夏まつり 手作り食事会 手書き年賀状	○	○		
	献血活動	○	○		
	地域福祉研修 支え合いサミット	○	○		
	高齢者支援活動 サロン活動 困りごと相談・支援 支え合い活動	○	○		
	子育て支援活動			○	
	認知症サポート活動			○	

分野	事業名	継続事業	実施時期(※)		
			短期	中期	長期
安心・安全	防災・減災・避難訓練	○	○		
	地域防災計画策定 安心・安全マップ	○	○		
	避難行動要支援者支援活動	○	○		
	交通安全活動	○	○		
	防火・防犯・特殊詐欺防止活動		○		
	自主防災活動	○	○		
	危険箇所情報共有・改善活動			○	
	救命講習活動		○		
	災害対策用備蓄品整備			○	

分野	事業名	継続事業	実施時期(※)		
			短期	中期	長期
環境	環境整備活動 大佐山公園づくり 花壇整備活動	○	○		
	地域環境美化活動	○	○		
	公衆衛生推進活動 環境夏期大学研修	○	○		
	緑化推進活動 記念植樹活動	○	○		
	省エネ・省資源活動	○	○		
	有害鳥獣対策 (野犬, 野良猫含む)	○	○		



施設訪問 肩たたきでニコリ



ヤングボランティアスクール



救急医療情報キット



キャンドルナイトコンサート

8. 推進体制

住民一人ひとりが主体的に参画し活動できる協働のまちづくりを展開します。

(1) 計画の推進

- ・まちづくり計画の推進は、まちづくり推進委員会が主体となって取り組みます。
- ・事業の推進に当たっては、関係機関・各種団体やサークルなどと連携して行います。

(2) 住民の協力

住民にまちづくり計画の役割や理解を深め、多くの参加が得られるよう情報の共有化を図り啓発や活動に取り組むものとします。

また、次世代のリーダー育成や事業の推進体制の充実に向け、団体の役職等に関わらず、まちづくりに協力していただける幅広い人材の確保に引き続き取り組みを進めます。

(3) 今後に向けて

- ・座談会でいただいた課題や新たな事業実施ニーズ等の貴重なご意見については、引き続き既存事業の見直し・充実や推進体制の確保と合わせて協議していきます。
- ・今後、事業を実施していく中で様々な状況変化も予想されます。その場合は、まちづくり推進委員会の構成団体をはじめとした地域のみなさんのご意見をいただきながら、学区の実情に合った事業となるよう対応していきます。



通り 看板



詐欺防止 啓発活動



ふる里探訪めぐり 看板

9. しんいち学区まちづくり推進委員会構成団体

1	単位町内会（20町内会）
2	民生委員児童委員協議会
3	女性会
4	身体障害者福祉協議会
5	土木常設委員
6	体育会
7	青少年育成員協議会
8	老人クラブ
9	更生保護女性会
10	公衆衛生推進協議会
11	福祉を高める会
12	商工会（商業部）
13	防火協会
14	新市消防団
15	新市中央中学校
16	新市中央中PTA
17	新市小学校
18	新市小学校PTA
19	新市小学校PTA・OB
20	新市保育所
21	戸手南保育所
22	在住行政職員のか
23	新市コミュニティセンター
24	新市公民館

座談会・団体アンケートの集約

座談会アンケートについては各 20 町内会で実施，団体アンケートについてはまちづくり構成団体で実施したものを次のとおり集約しました。

1. 新市学区の良いところ・魅力的・素敵などころは？

●活力・健康・つながり

- ・学区民運動会，夏まつり，キャンドルナイトコンサート，春まつりなどの行事，祇園祭などの伝統行事・地域の祭りなど，たくさんの人が参加し交流を深めている。また情報提供もあり，恒例行事への各種団体協力も大きく盛大に行うことができている。
- ・グラウンドゴルフや各種スポーツが盛んで健康意識が高い。
- ・登下校の子どものおいさつが大変良くできている。

●福祉・子育て支援

- ・民生委員や福祉委員の高齢者見守り活動，福祉サロンの集い，三世代交流の弁当配食活動がある。
- ・公民館やコミュニティセンターでの子育て支援行事やサークル活動，保育所で育児相談，また親子で参加できる行事がある。
- ・学校給食があり大変ありがたい。

●安心・安全

- ・自然災害の少ない地域であるが，防災計画が進められているので安心だ。
- ・公共施設や病院が近くにあるので便利，また各家庭には救急医療情報キットが備えられている。
- ・児童の登下校の見守り活動や声かけ，夜間の防犯活動，街灯増設や LED に更新する。

●環境

- ・自然環境が良く，河川草刈り整備や公園管理清掃を地域住民が行っている。
- ・下水道が整備され水路清掃もあって水質がきれいになった。またごみ出しのマナーも良い。
- ・学区内に公共施設があるので便利である。

2. 新市学区の困っていることや課題は何？

●活力・健康・つながり

- ・町内会未加入世帯があることや町内活動へ無関心な人，また行事へ若い世代の参加が少なく，コミュニケーションの希薄化に拍車がかかってきている。
- ・未婚者の増加と少子高齢化，各種団体や町内会役員の高齢化，役員の人選に困るようになった。
- ・行事への協力者が固定されて役員への負担が重くなった。
- ・商店街が閑散として活気がない。
- ・地域の行事がなくなって繋がりが希薄になった。
- ・健康増進につながる施設があれば良い。

●福祉・子育て支援

- ・一人暮らし世帯の増加で、生活困難な高齢者に対しての支援が必要だ。
- ・福祉活動が増え一方では負担に思う人もいる。
- ・放課後児童クラブは3年生までなので、共働き世帯は託児支援がほしい。
- ・子どもが安心して遊べる公園が少ない。
- ・子ども、保護者、高齢者世代間の交流があると良い。

●安心・安全

- ・街路灯が少なく町全体が暗い、また歩道が狭く段差もあり危険だ。
- ・生活道路が狭い場所は、自転車通行が危険、また緊急車両が入りにくい。
- ・交通渋滞箇所や交通規制箇所（一方通行）があり不便だ。
- ・防犯カメラの設置箇所が少ない、昼間の留守家庭の空き巣被害など不安がある。
- ・小中学生のヘルメットの着用、自転車マナーが良くない。
- ・公園遊具の安全確保や保守点検ができていないのか。
- ・水路や側溝が深く危険、ガードレールの不備箇所がある。
- ・防災無線がない、また一時避難所指定箇所は安全確認ができていないのか。
- ・災害が少ないことで危機感が薄い、また地域での取り組みに温度差がある。

●環境

- ・大雨時の道路冠水、樋門故障などの水害への不安。
- ・集会所や公園がない地域がある。
- ・神谷川、芦田川の樹木が茂り、大雨のときが不安だ。
- ・耕作放棄地の増加、草木が伸びている。
- ・芦田川排水路の汚泥堆積で大雨時が不安だ。
- ・野良猫や野犬が増えて困る、またイノシシなどの被害が多くなった。
- ・ペット飼い主のマナーが悪い（糞の後始末、無駄吠え等）
- ・ごみの不法投棄、ごみやタバコのポイ捨て、野焼きが多い。
- ・バリアフリーになっていない施設がある。

3. 新市学区のまちづくりで今後何を重点的に取り組んでいけばいい？

●活力・健康・つながり

- ・若い人の意見を反映させて共に活動できるような行事、また三世代交流活動で親睦を深める。
- ・文化や伝統行事の継承で活性化 また見直しを図る。
- ・健康増進に繋がる行事の企画や公園などの施設の整備。
- ・健康寿命を延ばすための取り組みや指導、また相談できる窓口の確保、何でも話し合いができるような人間関係をつくる。
- ・学区民全体が参加できるような行事で親睦を深める。
- ・空き地や空き家、河川敷の有効利用。

●福祉・子育て支援

- ・高齢者や一人暮らし世帯へのサポートと見守り活動の強化、また避難行動

要支援者への支援体制の整備，不登校や引きこもりへの支援。

- ・高齢者が楽しく健康に過ごすための取り組み。
- ・育児支援や交流活動の充実，病児保育があると良い。
- ・児童減少に伴い育成会子ども会の再編を図る。

●安心・安全

- ・廃屋，空き家対策（崩壊・羽アリ）また野良猫，野犬などの対策。
- ・地震や水害時の避難マニュアルと全体訓練，また災害に対する備えや研修。
- ・大雨時の道路冠水の改善。
- ・LED 街灯を増やして街を明るくする。
- ・通学路の安全整備，自転車運転マナーの向上，交通事故多発地点や渋滞個所の緩和対策，生活道路の交通規制の緩和。
- ・子どもの見守り活動や通学路表示，防犯カメラの設置。
- ・登下校の見守り活動に保護者も参加してほしい。
- ・避難場所の安全見直しや耐震補強。

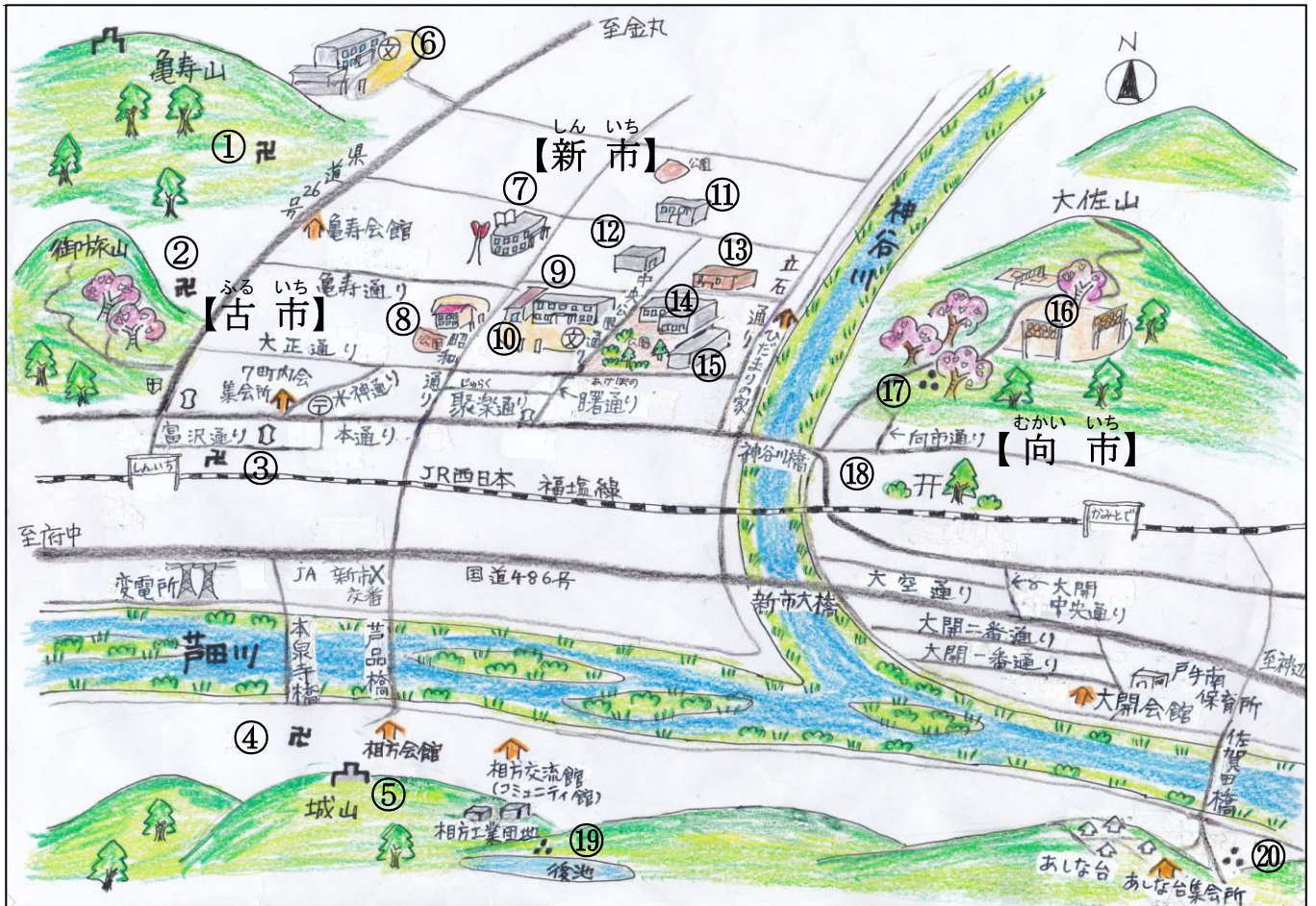
●環境

- ・水路整備や下水道整備
- ・I ターンやU ターンが増える魅力的なまちづくり。
- ・環境啓発活動（ごみ出しのマナーなど），3R 運動の講演や研修を行う。
- ・道路や施設のバリアフリー。
- ・空き家や空き地，休耕田の雑草対策または有効活用。
- ・下水道完全整備の促進，また公園や水路・河川の整備や安全対策。
- ・イノシシなどの有害鳥獣対策。
- ・団地内へバス路線の確保や都市計画道路の事業実施に向けての取り組み。

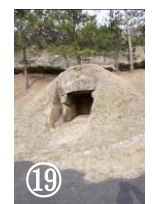
4. その他，まちづくりに関してお気づきの点や意見

- ・まちづくり組織や活動（計画や行事）について住民に分かりにくい。
- ・子育て中や共働き世帯の役員は各種行事への参加負担が大きい。
- ・人材を育てるための講座や住民の関心を高めること，また若い世代の後継者育成，有識者の活用が必要だ。
- ・各種イベントや行事に児童生徒が関われる機会があると良い。
- ・補助金のあるなしで行事があつたりなかつたりするのは矛盾している。
- ・まちづくりアンケートは記入方式よりも，回答しやすい方式が良かった。
- ・回覧や各戸配布物の情報について住民に理解できるよう工夫を望む。
- ・寄付金，協力金のある団体は活動の具体を報告してほしい。
- ・町内会と小学校区が違い諸行事の調整が難しい。

新市ガイドマップ



- ①安養寺 古義真言宗御室派，本尊は十一面観世音菩薩。
- ②本住寺 法華宗，本尊は大曼陀羅。
- ③靈巖寺 浄土真宗本願寺派，本尊は阿弥陀如来。
- ④本泉寺 法華宗，本尊は法華曼陀羅。
- ⑤相方城跡 相方城の歴史を明確にする文献は確認されていないが，在地の領主が築いた中世の山城に，毛利氏が総石垣で築いたのではないかと推測されている。
- ⑥新市中央中学校
- ⑦しんいち市民交流センター（新市支所・新市図書館）
- ⑧新市保育所
- ⑨新市小学校
- ⑩高田桃蹊君碑 私財を投じて博練教校，博練中学と設立し地域教育振興に寄与したその功勞に対して1912年（大正12年）に建てられた。
- ⑪新市コミュニティセンター
- ⑫新市給食センター
- ⑬しんいち歴史民俗博物館
- ⑭新市公民館・新市老人福祉センター・福山あしな商工会
- ⑮新市スポーツセンター
- ⑯大佐山運動公園
- ⑰神谷川弥生遺跡 弥生時代後期の集落遺跡。
- ⑱素盞鳴神社 北門，中門は伝相方城の城門。
- ⑲後池古墳群 古墳時代後期（6～7世紀）の横穴式石室を持つ古墳群。
- ⑳潮崎山古墳 福山で最古の前方後円墳と言われている。





1933年（昭和8年）御旅山から



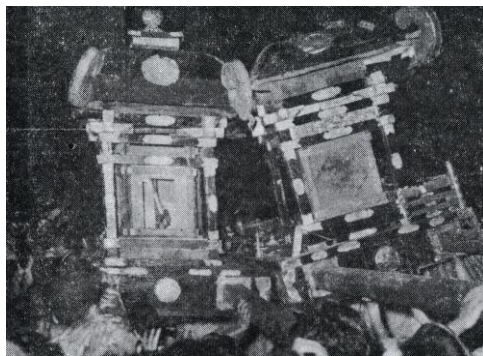
2007年（平成19年）6月 航空写真



1925年（大正14年）新築
尋常高等小学校 校舎



2016年（平成28年）
新市小学校 現在の校舎



昭和30年代 祇園祭けんか神輿
（左）新市神輿 （右）戸手神輿



2016年（平成28年）祇園祭神輿
（左）戸手神輿 （右）新市神輿



1933年（昭和8年）近県盆踊り大会



2016年（平成28年）
KIRAKIRA 夏まつり 盆踊り



しんいち学区まちづくり計画

発行 しんいち学区まちづくり推進委員会